

動画解説まとめ 39 / 画像・デザイン

体験を4コマ漫画にしてInstagramへ届ける方法

ペットとの体験を発信する事例から、共感を生む漫画の考え方と制作手順を整理。ChatGPTで構成を作り、写真とコマ割りを添えてGeminiで画像化し、セリフを直す流れが分かります。

この動画の要点

ペットロスを経験したおしげさんが、自身の思いをInstagramで発信し、AI漫画も取り入れた事例です。漫画は売れる商品そのものではなく、音を出せない場面でも気持ちが伝わる投稿として活用されています。資料では、自分の経験からテーマを選ぶ考え方、ChatGPTでストーリーを組み、GeminiのNano Banana Proで画像化する実演、コマ割りの固定とセリフの修正を整理。既存アカウントの成長事例と、個別動画の制作サービスを分けてまとめます。

01 まねるのはペットというテーマではなく、自分が語れる経験を起点にする方法。

02 漫画は音声なしでも読める投稿として、既存の発信に加えた手段。

03 台本はChatGPT、画像はGeminiというように、作業ごとの相性で使い分ける。

04 元の写真とコマ割り画像を渡すことで、描いてほしい内容と配置を伝える。

05 直すときは完成画像を添え、変更するコマとセリフを具体的に指定する。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【2026年最新！】未経験者でもOK！AIにマンガを描かせてお金を稼ぐ方法超初心者向け徹底解説！【AI副業】【ジェミニ】【Gemini】

<https://www.youtube.com/watch?v=YjveH-jUEIM>

1. 漫画投稿を始める前に、届けたい相手がいた

動画の該当箇所 2:22 / タップして開く

おしげさんのアカウントは、ペットを亡くして悲しんでいる人に向けた発信です。本人も以前に飼っていたミニチュアダックスを亡くした経験があり、そのときの気持ちや立ち直るまでの経験を、同じような思いを抱える人へ伝えたいと考えていました。最初は動画中心で、一年近く発信を続けた後に漫画を取り入れています。

動画時点では、漫画を投稿する前に約24,000人のフォロワーがおり、投稿後は約37,000人になったと説明されています。約二週間で一万人以上増えたという話は、ゼロから開設したアカウントがその期間だけで育った意味ではありません。既に発信の軸とフォロワーがある中で、新しい形式を試した事例です。

本人は、テーマを決めるときに自分の経験を書き出したと話しています。仕事の経験なども候補に挙げたうえで、強く残っていたペットロスの経験を選びました。あべさんも、同じテーマを安易に選ぶより、自分が一番語れること、心が動いた経験、届けたい内容を明確にする部分を参考にしてほしいと強調しています。

- ・ 自分の経験を複数書き出す。
- ・ その中で、当時の気持ちや具体的な出来事を語れるものを探す。
- ・ 誰にどんな気持ちや情報を届けたいかを決める。

2. 音を出せない場面にも届く形として漫画を選ぶ

動画の該当箇所 10:28 / タップして開く

漫画へ広げた理由は、流行しているからというだけではありません。動画で伝えてきたメッセージを、別の形で受け取ってもらえないかと考えたことがきっかけです。本人も通勤中などに音を出さずに見ることがあり、音声がなくても伝わるものとして、文字と絵の漫画に注目しました。

最初に大きな反応があった漫画は、犬がお気に入りのおもちゃをボロボロにするという日常の話です。本人は、大きな感動や面白さを必ず狙うのではなく、犬と暮らす人が『あるある』と思える小さな共感を意識したと説明しています。身近な出来事に共感すると、ほかの投稿も見たいという気持ちにつながるのではないかという考え方です。

一方、犬と家族の出会いから別れまでを描く、約八ページにわたる続きものも紹介されています。短い日常の漫画と、メッセージ性の強いストーリーを使い分けています。形式を増やしても、届ける相手や伝えたい思いが同じなので、アカウント全体の方向がつながっています。

- ・ 無音でも理解できるように、絵とセリフで意味が通る形にする。
- ・ 大きな事件だけでなく、相手が経験していそうな日常を題材にする。
- ・ 短い共感の投稿と、思いを深く伝える連続した漫画を組み合わせる。

3. 伝えたいメッセージを、ChatGPTで漫画の構成にする

動画の該当箇所 13:03 / タップして開く

続きものを作るときは、これまで伝えてきたメッセージや、自分が想像している流れを箇条書きにしてChatGPTへ渡しています。動画では、四コマの形で八話分にし、出会いから別れまで一つのストーリーにしたいと伝え、一話ずつ作ってもらう方法が説明されています。

台本には、自分用に用意したGPTsを使っています。元は犬を題材とする発信向けに調整したもので、作りたいエピソードを入れるとGeminiへ渡すための指示が出る仕組みです。実演では別の動物でも、最初に対象を伝えれば作成できました。ただし、そのGPTsの設定文や内部の指示全文が対談内で公開されているわけではありません。

おしげさんは、自分の意図に合う台本はChatGPTで作りやすく、漫画画像はNano Banana Proで作りやすかったと述べています。一つのAIへすべて任せる必要はなく、台本づくりと画像化を分け、自分の用途で出てくる結果を見て選ぶという本人の使い方です。

- ・ 材料：自分の経験と、相手に伝えたいメッセージ。
- ・ 操作：四コマや連続する話数など、欲しい構成を伝える。
- ・ 完成物：各コマの内容やセリフを含む、画像生成用の指示。

4. 写真とコマ割り画像を渡して、描く内容を揃える

動画の該当箇所 18:45 / タップして開く

実演では、あべさんが以前飼っていた淡水エイと金魚の話を漫画にしています。餌として入れた金魚をエイが食べず、そのまま大きくなって一緒に暮らすようになり、『餌丸』と名付けて可愛がったというエピソードです。まず、題材になるペットの写真を用意し、作りたいストーリーを言葉で伝えました。

もう一つ用意したのが、コマ割りの枠を描いた画像です。文章で四コマと伝えるだけだと、五コマや六コマになったり、上に二つ・下に二つという想定と違う配置になったりすることがあるため、あらかじめ枠を渡して『ここに入れる』形で伝えるという工夫です。

ChatGPT側では、エピソードを四コマ漫画にする指示を作成しています。必ず一コマずつ細かな演出を考える必要はなく、話の材料を伝えるとセリフも含めて案が出ます。セリフが意図と違う場合は、この段階で変更を伝え、全体の指示を作り直してから画像生成へ進める説明もありました。

- ・ ペットなど、描きたい対象の参考写真を用意する。
- ・ 欲しいコマ数と配置を示した枠の画像を用意する。
- ・ 実際のエピソードを伝え、四コマ用の内容と指示へ整理する。

5. Geminiで画像化し、直すコマを具体的に指定する

動画の該当箇所 20:04 / タップして開く

ChatGPTで出した指示を、GeminiのNano Banana Proへ渡して漫画画像を作ります。そのときにコマ割り画像も添付します。動画では、Geminiの思考モードと画像の選択についても案内されていますが、画面の名称や利用枠は動画撮影時の説明です。

生成された漫画では、金魚が小さな状態から成長する流れや、エイの模様が引き継がれていることが確認されています。一方、名前の部分に意図しない表記が付いたため、四コマ目の左側のセリフを『餌丸』に直す作業が入りました。全体の雰囲気がよくても、文字まで一度で完全にできるとは限らない実演です。

修正のとき、おしげさんは、直したい漫画画像をコピーして指示と一緒に添付する方法を勧めています。『四コマ目の左側のセリフを変える』と、場所と変更内容を具体的に伝えるためです。文章だけで頼むと全体を作り直す場合があるので、元画像を示して、残したい部分と変更したい部分を伝えやすくしています。

修正後には、意図した表記の漫画ができたことを確認して保存しています。生成して終わるのではなく、キャラクター、話の順番、コマの配置、セリフが合っているかを見直すところまでが、動画で紹介された制作の流れです。

- ・ Geminiへ、画像生成用の指示とコマ割り画像を渡す。
- ・ 生成後に、登場人物・成長や動き・文字の表記を読む。
- ・ 直すときは元画像を添付し、対象のコマとセリフを指定する。
- ・ 修正した結果を確認してから保存する。

6. 漫画による集客と、購入される商品を分けて考える

動画の該当箇所 15:24 / タップして開く

この事例では、漫画の販売代金で収益を得ているわけではありません。漫画はInstagramで思いを届け、アカウントを知ってもらう投稿の一つです。本人が有料で提供していたのは、依頼者のペットの写真から作る思い出の動画でした。ここを分けると、投稿形式と商品設計の関係が理解できます。

サービスでは、ペットの写真を受け取り、AIで動きを加えています。事前のアンケートから思い出や気持ちを拾い、メッセージを作り、声優に読み上げてもらった音声に合わせて一本の動画として渡していました。AIだけで完結するものではなく、依頼者の材料と本人の構成、外部の協力を組み合わせる制作です。

動画時点の価格は一本3,500円程度と語られています。本人は、AI利用料や編集などの費用、自分の時間を考えながら、なるべく多くの人に届けられる価格にしたかったと説明しています。冒頭では約15万円を受け取った話もありますが、期間や費用控除後の利益は示されていません。漫画投稿だけの売上として扱うこともできません。

- ・ 投稿：共感やメッセージを届ける漫画・動画。
- ・ 商品：写真とアンケートをもとに個別制作する思い出の動画。
- ・ 価格の考え方：本人の届けたい相手と、制作に必要な費用・時間を合わせて考える。

7. 続ける軸は、誰に何を伝えるか

動画の該当箇所 28:19 / タップして開く

おしげさんは、当初は副業に関する発信も考えていたと話しています。しかし、相談を重ねる中で、自分の経験を同じ悩みを持つ人へ伝える方向を選びました。漫画か動画かという形式の前に、誰に役立つ発信を続けるのかを決めたことが、今回の運営の軸になっています。

この事例を自分に置き換える際も、『AIで漫画を作れるから何でも投稿する』だけでは、投稿を見た人が次に何を得られるかが定まりません。自分の経験、伝えたいこと、相手が共感できる日常、必要としているサービスをつなげるという対談の考え方が、画像の生成手順と同じくらい重要です。

実践の進め方

01 自分の経験と届けたい相手を整理する

動画の話を実践順に整理しています。自分の経験を書き出し、具体的な出来事や気持ちを伝えられるテーマと、その話を必要としている相手を考えます。

動画 8:07

02 共感できる日常やメッセージを選ぶ

おもちゃを壊す犬のような身近な話や、出会いから別れまでのストーリーなど、伝えたい内容を箇条書きにします。

動画 11:52

03 ChatGPTで四コマの構成を作る

題材とエピソード、欲しいコマ数や話数を伝え、画像生成へ渡す指示を作ります。意図と違うセリフはこの段階で修正できます。

動画 13:03

04 写真と枠を用意して画像化する

参考写真とコマ割り画像を用意し、作成した指示をGeminiの画像生成へ渡します。配置の見本を添えることが実演の工夫です。

動画 18:45

05 完成画像を添えてセリフを直す

気になる表記があれば元画像を添付し、何コマ目のどのセリフをどう変えるか伝えます。修正後の文字や絵を確認して保存します。

動画 22:39

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部による活用例・動画の逐語プロンプトではありません】この資料を根拠に、記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めるようにしてください。私が経験したこと、届けたい相手、その人に伝えたいメッセージを聞いてください。実際のエピソードをもとに、四コマ漫画の内容案を一つずつ提案してください。事実として起きたことと、演出のための創作は分け、私が確認してから画像生成用の指示に整えてください。

資料について

- ・本資料は動画の字幕をもとに整理した要約です。台本作成と画像生成の実演を扱っており、動画内で案内された専用GPTsやコマ割り画像そのものを同梱する資料ではありません。
- ・フォロワー増加は、既に約24,000人のフォロワーがいたアカウントの個別事例です。収入額・制作時間・閲覧数も同じ成果を保証しません。
- ・機能、画面、無料利用枠、特典の提供案内は動画時点の説明です。価格は登壇者の当時のサービス例で、受取額と利益は異なります。